

令和2年度
企業版ふるさと納税に対する評価

1 事業概要

交付対象事業の名称	酒田市まち・ひと・しごと創生推進事業
事業計画期間	2020（令和元）年度 ～ 2024（令和6）年度
事業の概要	企業版ふるさと納税による寄附を、酒田市まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置付けた以下の事業に活用することにより、人口の社会減少、自然減少の抑制を目指す。 1. 地域経済の好循環により「働きたい」がかなうまち事業 2. ファンが多く、移住者・定住者・観光客が増加するまち事業 3. 結婚・妊娠・出産・子育て・教育の希望がかなうまち事業 4. 地域のつながりと安全・安心にあふれた暮らしやすいまち事業

2 まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関する寄附の実績

法人名	寄付金額（円）	充当事業
株式会社栄電子	5,000,000	ファンが多く、移住者・定住者・観光客が増加するまち事業
株式会社ウォーターエージェンシー	1,000,000	地域のつながりと安全・安心にあふれた暮らしやすいまち事業

3 重要業績評価指標（KPI）

重要業績評価指標（KPI）		事業開始前	2020 令和2 増加分	2021 令和3 増加分	2022 令和4 増加分	2023 令和5 増加分	2024 令和6 増加分	目標値 (2024年度)	進捗状況
①新規就業者の創出 (2020-2024年の累計)	実績値 (人)	0	233	-	-	-	-	800	順調
②平均給与収入	実績値 (万円)	297.6	未確定	-	-	-	-	335	-
③人口に対する社会 減の抑制	目標値 (人)	-401	-148	-	-	-	-	-100	順調
④5年後の合計特殊出 生率の向上	目標値 (-)	1.42	未確定	-	-	-	-	1.50	-
⑤酒田に住み続けたい と思う市民の割合	目標値 (%)	78.2	-	-	-	-	-	80.0	-

4 目標達成・未達理由

令和2年度の寄附を活用した事業につながるKPIは③と⑤。③は新型コロナウイルス感染症の影響もあってか、順調に推移した。⑤は調査実施年ではないため令和2年度の実績は不明。
--

5 評価

事業の評価	地方創生に相当程度効果があった
意見等	新型コロナウイルスという予想もしなかった未曾有の大きな問題が発生しており、これまで以上に、この地元で暮らしていきたいと思うような素晴らしいまちづくり・地域づくりをしていくためにはどのようにしたらよいかを考えていく必要がある。令和2年度は2社からの寄附をいただき、地方創生に向けた事業をより強力に進めることができた。新型コロナウイルス感染症の状況をみながら、企業に様々な方法でアプローチすることで寄付額増加を図り、効果的な地方創生事業を推進する必要がある。

令和2年度

地方創生推進交付金活用事業に対する評価

1 事業概要

交付対象事業の名称	酒田市産業振興まちづくりセンター（サンロク）整備・運営事業		
事業計画期間	2017（平成29）年度 ～ 2021（令和3）年度		
総合戦略における位置づけ	基本目標	I 地域経済の好循環により「働きたい」がかなうまち	
	数値目標	5年間で新規就業者を800人創出【2020-2024年度の累計】	
事業の概要	地元企業、農林水産事業者等のニーズとシーズをつなぐ（マッチング）ことにより様々なプロジェクトを組成するとともに、女性活躍推進、創業支援を実施し、新たな産業やビジネスの創出を活性化する。		
事業費（千円）	46,222	うち交付金充当額	23,111

2 重要業績評価指標（KPI）

重要業績評価指標（KPI）		事業開始前	2017 平成29 増加分	2018 平成30 増加分	2019 令和元 増加分	2020 令和2 増加分	2021 令和3 増加分	評価対象年度 (2020) まで の増加分累計	進捗状況
センターのマッチングにより創出されるビジネス・プロジェクトの契約金額	目標値 (千円)	-	1,020	34,425	34,425	34,425	34,425	104,295	達成
	実績値 (千円)	0	27,788	45,968	40,458	32,389	-	146,603	
センターのマッチングにより創出されるビジネス・プロジェクトの件数	目標値 (件)	-	4	135	135	135	135	409	更なる取組 が必要
	実績値 (件)	0	4	87	154	87	-	332	
センターの支援により創業した件数	目標値 (件)	-	20	30	30	30	31	110	達成
	実績値 (件)	0	45	33	44	23	-	145	

3 目標達成・未達理由

コロナ禍の影響を受けたことが2020年度の目標未達の要因であり、経済回復により実績は増加していく見込み。
--

4 評価

事業の評価	地方創生に相当程度効果があった
意見等	業界団体や商工会議所などの会員組織はあり、工業部会等の部会ごとに視察等の様々な事業を行っているが、現状のビジネスを拡大するための取組や企画、または新たなビジネスを生み出すきっかけとなるような活動は行っていないと考えている。事業者同士の利害の衝突など留意すべきことは存在するだろうが、ビジネスにつながるような集まり・寄り合いやコミュニティが存在し、事業者同士が情報交換を行い（事業者同士の利害の衝突など留意は必要と付言。）、切磋琢磨し事業拡大をし、地域に雇用や所得向上をもたらすようなスキームができれば、それは素晴らしい事。サンロクがそれを行うなら、是非挑戦してほしいし、期待している。

令和2年度

地方創生推進交付金活用事業に対する評価

1 事業概要

交付対象事業の名称	参加する暮らしに人が集うまち酒田（酒田市生涯活躍のまち基本計画）		
事業計画期間	2019（令和元）年度 ～ 2023（令和5）年度		
総合戦略における位置づけ	基本目標	II ファンが多く、移住者・定住者・観光客が増加するまち	
	基本的方向	人口に対する社会減の抑制 △485人【2018年】 → △100人【2024年】	
事業の概要	医療機関や大学、地域での支えあいの仕組みを活用し、安心していきいきと暮らせるまちづくりを進め、元気な高齢者の移住を促進、協働による地域づくりを目指す。移住者を獲得するため、市はモデルとなる拠点候補地を定め、民間活力によってまとまった住まいや付随する拠点を整備する。また、移住希望者が移住前から地域との関わりをつくり、移住実現の過程を繋ぐ人材の育成や、窓口となる場や機能を構築する。本取り組みを、元気な高齢者に限らず若者へと、モデル拠点に限らず市全域へと展開していく。		
事業費（円）	20,769,100	うち交付金充当額	10,384,550

2 重要業績評価指標（KPI）

重要業績評価指標（KPI）		事業開始前	2019 令和元 増加分	2020 令和2 増加分	2021 令和3 増加分	2022 令和4 増加分	2023 令和5 増加分	評価対象年度 (R2) までの 増加分累計	進捗状況
本市へ移住し、地域活動等への参加を行う移住者数	目標値 (人)	-	5	5	10	15	15	10	達成
	実績値 (人)	4	6	6	-	-	-	12	
移住者または移住検討者が関わった地域活動等の件数	目標値 (件)	-	2	2	2	2	2	4	達成
	実績値 (件)	1	9	4	-	-	-	13	
移住検討段階で本市の事業等に参加し、本市との関わりをつくった人数	目標値 (人)	-	10	20	20	25	25	30	更なる取組 が必要
	実績値 (人)	4	14	2	-	-	-	16	

3 目標達成・未達理由

<p>①移住者が地域活動に関わる仕組みが一部できつつあるため。</p> <p>②移住検討者に多岐に渡るニーズがあることと、そのことに対し、地域が協力的であるため。</p> <p>③コロナ禍の中、直接的に関わりをつくる事業が実施しにくい状況にあるため。</p>

4 評価

事業の評価	地方創生に相当程度効果があった
意見等	コロナ禍による停滞はあるものの、移住検討者と地域との関わりが、移住検討の段階を前向きに進めている。また、コロナによって暮らし方・働き方の価値観の変化が起きており、二拠点生活の需要も高まっている。

令和2年度

地方創生推進交付金活用事業に対する評価

1 事業概要

交付対象事業の名称	ものづくり産業、企業支援型サービス産業の人材確保・育成等競争力強化事業		
事業計画期間	2019（令和元）年度 ～ 2021（令和3）年度		
総合戦略における位置づけ	基本目標	I 地域経済の好循環により「働きたい」がかなうまち	
	数値目標	5年間で新規就業者を800人創出【2020-2024年度の累計】	
事業の概要	<p>「ものづくり産業」及び今後成長の期待される「企業支援型サービス産業」の両分野を軸とした「足腰の強い産業構造」を構築していくために次の取り組みを実施していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●即戦力となる高度人材の確保・育成並びに求人発信力の強化による人材の確保・育成 ●RPA導入支援及びRPA構築人材の育成による人材不足・経営効率化ニーズに対応する業務効率、生産性向上支援 ●事業拡大を図る地域牽引事業者への施設整備への支援による企業支援型サービス産業の集積促進 		
事業費（千円）	84,746,000	うち交付金充当額	42,373,000

2 重要業績評価指標（KPI）

重要業績評価指標（KPI）		事業開始前	2019 令和元 増加分	2020 令和2 増加分	2021 令和3 増加分	-	-	評価対象年度 (2020) までの 増加分累計	進捗状況
事業者への人材確保・育成等支援による雇用増加数	目標値 (人)	-	130	130	135	-	-	260	更なる取組 が必要
	実績値 (人)	0	52	120	-	-	-	172	
事業者への人材確保・育成等支援による売上増加額	目標値 (百万円)	-	0	390	475	-	-	390	達成
	実績値 (百万円)	0	0	830	-	-	-	830	

3 目標達成・未達理由

<p>①新型コロナウイルス感染症蔓延の長期化の影響が大きい。</p> <p>②半導体関連や企業支援型サービスの業況が目標以上の実績となったことの影響が大きい。</p>

4 評価

事業の評価	地方創生に相当程度効果があった
意見等	新型コロナウイルス感染症蔓延の長期化の影響を受けている中、売上増加額目標については目標値を達成している。雇用増加目標に関してはリモート対応等採用活動に工夫を重ねていく必要がある。また、学生が働くことについて考え、酒田にどんな仕事があるか知る機会を増やすべきではないか。

令和2年度

地方創生推進交付金活用事業に対する評価

1 事業概要

交付対象事業の名称	KOEKI(交易と公益) のまち・酒田推進事業		
事業計画期間	2019(令和元)年度 ~ 2023(令和5)年度		
総合戦略における位置づけ	基本目標	II ファンが多く、移住者・定住者・観光客が増加するまち	
	数値目標	人口に対する社会減の抑制 △485人【2018年】→△100人【2024年】	
事業の概要	観光分野における交流人口の拡大と消費の増大を図るため、日本遺産「北前船寄港地船主集落」と「鳥海山・飛鳥ジオパーク」、「クルーズ船受入」の3本の柱とそれらに付随する「食」「酒」でPRしていく。具体的には、観光産業を活性化させるための新組織の設立、新組織による日本遺産構成文化財回遊の仕組みづくりとイベントの企画運営、プロモーションの強化、日本遺産構成文化財PR施設の整備を実施する。		
事業費(千円)	218,203,214	うち交付金充当額	109,101,607

2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)		事業開始前	2019 令和元 増加分	2020 令和2 増加分	2021 令和3 増加分	2022 令和4 増加分	2023 令和5 増加分	評価対象年度 (2020)まで の増加分累計	進捗状況
日本遺産構成文化財施設入込み数(山王くらぶ、相馬屋、本間家別邸、本間家本邸、山居倉庫)	目標値(千人)	-	20	20	20	20	20	40	更なる取組が必要
	実績値(千人)	753	157	-266	-	-	-	-109	
日和山公園周辺観光施設入込み数(さかた海鮮市場、さかたみなと市場、海向寺、白崎医院、光丘文庫、旧割烹小幡)	目標値(千人)	-	5	5	15	15	15	10	更なる取組が必要
	実績値(千人)	555	-5	-95	-	-	-	-100	
酒まつりチケット等販売金額(イベント)	目標値(千円)	-	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	4,000	更なる取組が必要
	実績値(千円)	0	2,137	-2,137	-	-	-	0	
酒田花火ショー有料席販売金額(イベント)	目標値(千円)	-	750	1,000	1,000	1,000	1,000	1,750	更なる取組が必要
	実績値(千円)	8,350	879	-9,229	-	-	-	-8,350	

3 目標達成・未達理由

<p>①新型コロナウイルス感染症拡大のため観光客数が大幅に減少した。</p> <p>②新型コロナウイルス感染症拡大のため観光客数が大幅に減少した。</p> <p>③新型コロナウイルス感染症拡大のためイベントを実施できなかった。</p> <p>④新型コロナウイルス感染症拡大のためイベントを実施できなかった。</p>

4 評価

事業の評価	地方創生に効果があった
意見等	新型コロナウイルス感染症拡大による観光客の減少は想定外。「ウィズコロナ」「アフターコロナ」とは言われても、新型コロナウイルス感染拡大の最中に観光関連に関する議論はしばらくのものがあるが、収束後の事業効果を期待したい。魅力的なコンテンツ造成に加え、それを販売するルートの強化も求められるのではないか。

令和2年度

地方創生推進交付金活用事業に対する評価

1 事業概要

交付対象事業の名称	東北公益文科大学、地元高校との連携による人づくり・まちづくりプロジェクト		
事業計画期間	2020（令和2）年度 ～ 2022（令和4）年度		
総合戦略における位置づけ	基本目標	II ファンが多く、移住者・定住者・観光客が増加するまち	
	数値目標	人口に対する社会減の抑制 △485人【2018年】 → △100人【2024年】	
事業の概要	<p>庄内地域唯一の4年制大学である東北公益文科大学（公益大）及び市内に所在する4つの高等学校との連携・協働により、次の人材育成を目指す。</p> <p>①公益大の知見を活かし、society5.0を見据えながら、ITを活用して地域課題を解決活躍できる人材（地域IT人材）</p> <p>②学生時代から地域と密接な関わりをもち、地元志向のキャリアを形成しつつ、将来的に地域課題解決のためのリーダーとなりえる人材（地域連携人材）</p>		
事業費（千円）	10,546,600	うち交付金充当額	5,273,300

2 重要業績評価指標（KPI）

重要業績評価指標（KPI）		事業開始前	2020 令和2 増加分	2021 令和3 増加分	2022 令和4 増加分	2023 令和5 増加分	2024 令和6 増加分	評価対象年度 （2020）まで の増加分累計	進捗状況
公益大卒業生の酒田 市内就職数	目標値 （人）	-	3	4	5	-	-	3	
	実績値 （人）	17	-6	-	-	-	-	-6	
酒田市内の高校から 公益大への進学者数	目標値 （人）	-	3	4	5	-	-	3	
	実績値 （人）	17	6	-	-	-	-	6	

3 目標達成・未達理由

- ①コロナ禍において、市内企業と学生のマッチングについて、活動が制限されたことが未達成につながった
- ②大学へ委託しているIT人材育成に係るプログラムが学生のニーズと一致したことが達成要因の一つと考えられる。

4 評価

事業の評価	地方創生に相当程度効果があった
意見等	<p>KPI②は順調に推移していることから、計画通り事業展開を進めるとともに、新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、状況に応じた市内企業と学生の交流事業を充実させ、市内企業の働き方などの魅力を発信するとともに学生のアピールの場とすることで、企業と学生のマッチングを支援し、公益大卒業生の酒田市内就職数の増加につなげる必要がある。</p> <p>また、この地域に必要なIT人材とはどういう人材なのかといった議論に加え、IT人材育成に向けたプラットフォーム、場づくりが必要ではないか。</p>

令和2年度

地方創生推進交付金活用事業に対する評価

1 事業概要

交付対象事業の名称	地域の宝を核とした関係人口創出プロジェクト		
事業計画期間	2020（令和2）年度 ～ 2022（令和4）年度		
総合戦略における位置づけ	基本目標	Ⅳ 地域のつながりと安全・安心にあふれた暮らしやすいまち	
	数値目標	酒田に住み続けたいと思う市民の割合（アンケート調査） 78.2%【2017年】→80%以上【2024年】	
事業の概要	本事業では、酒田市にある「地域の宝」とも言える魅力（自然・歴史的町並み等）を活用し、情報発信を行うことで「地域の宝」に興味のある首都圏の人々を関係人口として地域と結び付けることを目指すものである。そのため、本事業により「地域の宝」を首都圏から人々を呼びうる形でPRするとともに、既存の「地域の宝」に関係する組織を継続的な関係を続けられる組織に育成することで、「地域の宝」の担い手の受け皿を整備し、関係人口の創出を目指す。		
事業費（千円）	8,258,382	うち交付金充当額	4,129,191

2 重要業績評価指標（KPI）

重要業績評価指標（KPI）		事業開始前	2020 令和2 増加分	2021 令和3 増加分	2022 令和4 増加分	2023 令和5 増加分	2024 令和6 増加分	評価対象年度 （2020）まで の増加分累計	進捗状況
本事業による関係人口増加数（本事業の関連イベントに参加し、継続的な関係性を持つ人の増加数）	目標値 （人）	-	0	50	100	-	-	0	
	実績値 （人）	0	11	-	-	-	-	11	
本事業に関係する団体及び本市が実施する「地域の宝」関連イベント参加者数	目標値 （人）	-	5,000	5,000	5,000	-	-	5,000	
	実績値 （人）	20,000	-12,900	-	-	-	-	-12,900	
「関係人口」の受け皿となる組織体制を作った組織数	目標値 （組織）	-	0	3	5	-	-	0	
	実績値 （組織）	0	0	-	-	-	-	0	

3 目標達成・未達理由

①開催したイベントをきっかけに地域に関心を持つ人が出てきたため
②新型コロナウイルスの影響で中止となったイベントが多かったため

4 評価

事業の評価	地方創生に効果があった
意見等	新型コロナウイルスの影響でイベントの多くは中止となり、KPI達成状況は芳しくなかったものの、可能な範囲で取り組みをすすめ、地域の魅力を発信した。関係人口創出に向けて新型コロナウイルス感染症の動向も注視しながら、感染対策や感染状況に応じた取り組みを引き続き進める必要がある。

令和2年度

地方創生推進交付金活用事業に対する評価

1 事業概要

交付対象事業の名称	官民協働・地域間連携（中間支援プラットフォーム構築）による住民主体の地域づくり推進事業【広域連携事業】		
事業計画期間	2016（平成28）年度 ～ 2020（令和2）年度		
総合戦略における位置づけ	基本目標	IV 地域のつながりと安全・安心にあふれた暮らしやすいまち	
	数値目標	酒田市に住み続けたいと思う市民の割合（アンケート調査） 78.2%【2017年】→80%以上【2024年】	
連携自治体	山形県、鶴岡市、酒田市、新庄市、寒河江市、長井市、尾花沢市、河北町、西川町、朝日町、大江町、金山町、舟形町、白鷹町、飯豊町、庄内町		
事業の概要	人口減少下において、地域で暮らし続けたいという住民の要望を叶えるためには、地域住民が主体となって、暮らしに必要な機能やサービスを補っていくことが重要であり、山形県・市町村・中間支援組織で中間支援プラットフォームを構築し、官民連携・地域間連携による住民主体の地域づくりを推進する。		
酒田市の役割	官民協働・地域間連携による中間支援プラットフォームに参画し、住民主体の地域づくり（地域運営組織形成・コミュニティビジネスの展開等）支援を行う。 連携のツールとして、集落調査を行い、地域診断書（カルテ）を作成し、関係者間で情報共有、連携施策展開等に繋げる。		
事業費（千円）	26,344,235	うち交付金充当額	13,172,117

2 評価

事業の評価	地方創生に効果があった
意見等	新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、地域計画の策定には至らなかったが、地域課題を協議する場を持てたことから、一定程度の成果はあった。地域コミュニティに関する協働の指針が必要である。法人を作り、コミュニティ振興会を中心に、地域活動が活発になるような仕組みが作ればよいのではないか。

令和2年度

地方創生推進交付金活用事業に対する評価

1 事業概要

交付対象事業の名称	庄内空港の利便性向上による地域産業振興・インバウンド誘客拡大等推進計画【広域連携事業】		
事業計画期間	2019（令和元）年度 ～ 2021（令和3）年度		
総合戦略における位置づけ	基本目標	I 地域経済の好循環により「働きたい」がかなうまち	
	数値目標	施策効果による新規就業者の創出：800人【5年間累計】 平均給与収入額：335.4万円	
連携自治体	山形県、鶴岡市、三川町、庄内町、遊佐町		
事業の概要	庄内地域で唯一の高速交通手段である航空を新たな路線就航（LCCによる庄内＝成田線運航）によって拡充し、かつ、県・自治体・経済団体・民間企業等で構成される庄内空港利用振興協議会と連携し、空港の利用拡大を図ることで路線の維持・定着を図るとともに、5往復便化に拡充された交通インフラを活かし、地域産業の活性化及びインバウンド誘客による交流人口の拡大等を推進していく。		
酒田市の役割	庄内空港利用振興協議会の構成団体として、運航5往復便の維持・定着及び日本遺産（北前船寄港地・船主集落）等の観光資源を活かした利用拡大策や、移住・定住促進等を趣旨とした利用拡大策等に取り組んでいく。		
事業費（千円）	1,352,998	うち交付金充当額	676,499

2 評価

事業の評価	地方創生に効果があった
意見等	空港を核とした広域観光がまだ不足しているように感じるが、ポストコロナを見据えて、庄内空港の活性化事業に粘り強く取り組むことにより、首都圏や海外との経済交流の活発化やインバウンド需要の拡大が期待できる。

令和2年度

地方創生推進交付金活用事業に対する評価

1 事業概要

交付対象事業の名称	飛島振興重点プロジェクト・飛島まるごと元気活性化事業【広域連携事業】		
事業計画期間	2019（令和元）年度 ～ 2021（令和3）年度		
総合戦略における位置づけ	基本目標	地域のつながりと安全・安心にあふれた暮らしやすいまち	
	数値目標	酒田市に住み続けたいと思う市民の割合 78.2%【2017年】→80%以上【2024年】	
連携自治体	山形県		
事業の概要	山形県唯一の離島である「飛島」において、個性的で魅力的な地域資源を活かして観光交流や産業振興に取り組む若者たちを、県と市が連携しながらソフト・ハード両面で支援することにより、飛島の基幹産業（観光業・漁業）の再生につなげるとともに、新たな雇用創出による若者の転入拡大を促進し、「飛島」の維持振興を図る。		
酒田市の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・当該事業を含む飛島振興重点プロジェクトの各種事業の企画運営 ・島内の受入体制の整備 		
事業費（千円）	31,109,200	うち交付金充当額	15,554,600

2 評価

事業の評価	地方創生に効果があった
意見等	飛島のみならず、市全体で考えたときにも、いかに関係人口を増やしていくかは大切。ポストコロナを見据え、継続して地域資源を活かすための環境整備等に取り組む必要がある。

令和2年度

地方創生推進交付金活用事業に対する評価

1 事業概要

交付対象事業の名称	酒田港の魅力を活かした賑わい向上事業【広域連携事業】		
事業計画期間	2018（平成30）年度 ～ 2020（令和2）年度		
総合戦略における位置づけ	基本目標	ファンが多く、移住者・定住者・観光客が増加するまち	
	数値目標	人口に対する社会減 △401人【2017年】⇒△100人【2024年】	
連携自治体	山形県		
事業の概要	山形県唯一の重要港湾である酒田港は山形県の国際物流の拠点や港町としての歴史、文化、景観、水産品、親水空間を活かした観光拠点として、さらに近年では外航クルーズ船が寄航するインバウンド誘客の拠点としての重要な機能を果たしている。このような酒田港の歴史、文化、景観、水産品、を観光資源として魅力を向上し、さらにインバウンド誘客を拡大し、地域の消費促進を図るとともに、雇用機会を創出し、地域の活性化を図る。		
酒田市の役割	北前船の寄港地酒田港の魅力発信事業等、酒田市内で行うイベント等の開催を主体的に行う。		
事業費（千円）	1,941,500	うち交付金充当額	970,750

2 評価

事業の評価	地方創生に効果があった
意見等	これまでクルーズ観光客向けのツアー先として検討されてこなかった旧三町の観光資源の発掘に繋がったが、まだクルーズ船の寄港が十分に地元にお金が落ちるようになっていないのではないかと懸念がある。

令和2年度

地方創生推進交付金活用事業に対する評価

1 事業概要

交付対象事業の名称	移住定住・人材確保戦略的展開事業【広域連携事業】		
事業計画期間	2019（令和元）年度 ～ 2023（令和5）年度		
総合戦略における位置づけ	基本目標	ファンが多く、移住者・定住者・観光客が増加するまち	
	数値目標	人口に対する社会減 △485人【2018年】→△100人【2024年】	
連携自治体	鶴岡市、村山市、南陽市、河北町、朝日町、大江町、大石田町、寒河江市、最上町、鮭川村、飯豊町、白鷹町、尾花沢市、西川町、小国町		
事業の概要	移住定住・人材確保策を一体化・組織化し、「若者（特に子育て世代）」を主なターゲットに、本県への移住希望者一人ひとりのニーズに寄り添った質の高い移住定住・人材確保策を戦略的に展開し、県外からの移住者を拡大させ、人口減少要因の1／3を占める社会減少を抑制する。		
酒田市の役割	首都圏等県外からの若者をはじめとする移住者確保に向け、県及び新法人と連携した施策を展開する。		
事業費（千円）	800,000	うち交付金充当額	400,000

2 評価

事業の評価	地方創生に効果があった		
意見等	オンライン移住ツアーの実施により参加者に対し本市の魅力や移住環境を周知する機会を創出できた。若者をはじめとする移住者確保とあるが、移住のターゲットは全方位ではなく、絞った方が効果的なのではないか。		